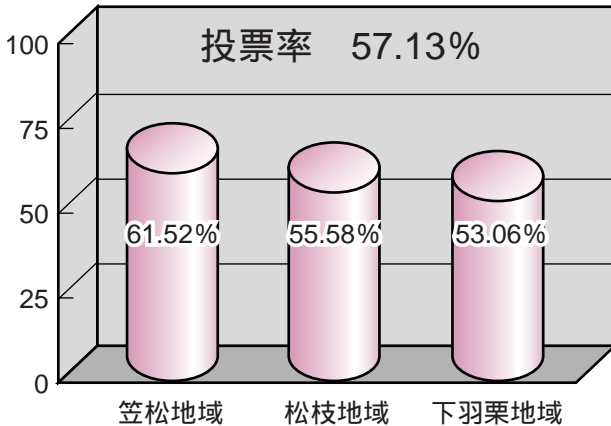


合併についての意思を問う住民投票の結果

岐阜広域合併に「反対」が多数

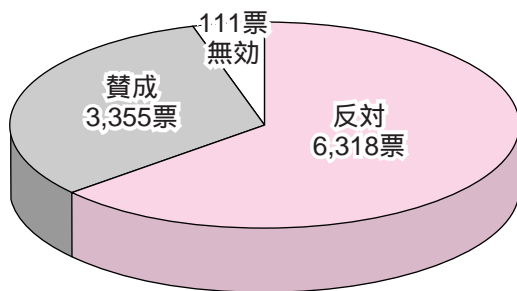
投票の状況



「笠松町の合併についての意思を問う住民投票」が6月6日に行われ、投票率が57.13パーセントとなり、即日開票されました。

今回の住民投票は、岐阜市を中心とする岐阜広域合併についての賛否の意思を確認するために行われたもので、投票・開票の結果については次のとおりです。

開票の結果



投票状況

投票資格者総数	17,125人
投票総数	9,784人
投票率	57.13%

開票結果

合併することに賛成	3,355票
合併することに反対	6,318票
無効投票	111票

住民投票の結果を受けて

笠松町は、今回の住民投票の結果により岐阜広域合併の協議を離脱し、時代の流れを注視しつつ行財政運営を行っていくことになりました。

今後は、非常に厳しい財政状況のため、現在の行政サービス水準を維持することは不可能であり、突出したサービスをはじめとする全ての事務事業の見直し、サービスを受けられるかたからの忒分の負担、ひいては制度そのものの存廃を検討し、今までにない行財政改革を徹底的に断行しなければなりません。

そのために、行財政全般に係る見直しを行う機関を設置し、財政健全化に向けて、体制を整え臨みたいと考えております。

町民の皆さまと行政が互いに厳しさに立ち向かい、協働によるまちづくりを行う所存でありますので、今後の行政運営になお一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

笠松町長 広江 正明